

令和5年度 阿武町立阿武中学校 学校評価書 校長（原田 隆史）

<p>1 学校教育目標 教育目標…高い志をもち、つながりを大切にする阿武町っ子の育成 中・長期目標… ○生徒・教職員・保護者・地域の方が誇りをもち学校(阿武中PRIDE) ○生徒一人ひとりが自己実現をめざす学校(「阿武中で学んでよかった!」と胸を張れる) ○生徒の姿で教育の成果を見せる学校(子どもに力を付ける)</p>
--

<p>2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて) 【学校】[よさ]小学校、保育園、高校が近接・隣接する充実した教育環境 [課題]学校運営協議会の充実、地域連携教育の充実・深化・学校課題の解決に資する取組 【生徒】[よさ]素直で純朴な者が多い [課題]学力向上、家庭学習の充実、固定化された人間関係、コミュニケーション能力の改善 【教師】[よさ]与えられた職務に専念し、誠実に役割を果たそうとする者が多い [課題]支援的風土の充実、授業改善、業務改善への意識、ICT機器活用の充実 【保護者・地域】[よさ]学校教育に関する理解と支援、教育的資源の提供 [課題]課題の共有、当事者意識のさらなる醸成と協働の気運の高まり</p>
--

<p>3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題 ①確かな学力の育成(基礎基本の定着、学習に向かう意欲の醸成、主体的・対話的で深い学びの実現をめざす授業実践) ②生徒・教職員の創意を生かした活動の推進(思考力・判断力・表現力を高めるとともに、学校づくりの主体者としての意識を醸成する活動づくり) ③地域連携を核とした「ふるさとを愛する生徒」の育成(総合的な学習の時間の充実、コミュニケーション能力の育成、地域貢献ボランティア活動の実践) ④校種間連携・地域連携を核とした学校安全に関する取組(学校安全総合支援事業への取組)を通じた4つの心・力の育成</p>

4 自己評価					5 学校関係者評価		
領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	評価	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望	評価
学校運営	チャレンジ目標	チャレンジ目標(美・礼・時)を意識した生活を徹底する。	・チャレンジ目標の掲示 ・機会をとらえた指導 ・委員会活動での取組	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.0】チャレンジ目標 機会をとらえて生徒たちに意識化を図った。生徒会でも委員会活動の中で意識して毎月取組を進めてきている。	A
	CSの推進 家庭・地域との連携	家庭・地域と一体となった「開かれた学校」づくりをよりいっそう推進する。	・ホームページや学校だよりによる情報発信 ・熟議を中心とした学校運営への地域住民等の参画	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.4】地域連携① 全校熟議を核とした「生徒の創りたい学校づくり」を進める動きを作った。学力についても学校運営協議会で熟議を行うなど、取組が一段進んだ。その状況についても情報発信を進めた。	
	地域貢献の推進	ボランティア活動や地域行事への積極的な参加、学校施設の利用を促進する。	・自己有用感をもたせる事前、事後指導 ・学校だより、ホームページを通じた情報発信 ・生徒会での取組充実	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	4	【3.5】地域連携② 地域行事の復活等もあり、その中でボランティア活動に取り組む生徒たちの姿を地域住民も多く目にしていく。生徒会でも地域貢献活動に組織的に取り組み始めた。	
	小中連携の推進	小学校と連携した教育実践を推進し、研修の成果を蓄積する。	・小学校英語授業への参加 ・小中互見授業の実施 ・三校協働研修会での異校種交流等	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.1】小中連携 三校協働研修会を中心に、各校の取組や課題等について町内全体で共有化が進んでいる。互見授業等、日常的な連携について、さらに研究を進め持続可能性を高める必要がある。	
学習・心	学力向上	全教科で基礎基本の定着に取り組むとともに、学習に向かう意欲や姿勢を育てる。	・分析に基づく学力向上方策の策定、推進 ・ICTを活用した授業改善への取組 ・様々なテーマでの研修職員の充実	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.3】授業改善・学力向上・ICT活用・特別支援教育 研修職員の定期的な開催により、研修を深めてきた。ICT活用も確実に進んできているが、タブレットの家庭学習での活用促進について、さらに充実させる必要がある。	B
	道徳教育の充実	多様な価値観に触れることができる魅力ある道徳授業を実践する。	・地域人材を活用した授業実践等の工夫 ・ねらいを達成させる発問の工夫	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.1】道徳教育 授業実践の中で、発問の工夫を各学年で進めた。学年通信で授業の様子等についても積極的に発信しているが、取組の状況についてより分かりやすい情報発信が必要だと思われる。	
	学校行事・感動体験の充実	生徒の主体性を伸ばし、充実感・感動を味わえる行事や活動を充実させる。	・ねらいや付けたい力の明確化 ・他の教科や活動と連携させた指導 ・事後指導の充実	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.3】体験活動 小中合同運動会での連携、イカダ大会等地域行事での体験等で生徒が充実した取組を深めている様子が保護者・地域にも伝わっている。取組を精選し、持続可能性を高める必要がある。	
環境・安全	生徒指導の充実	きめ細やかな生徒理解を基本とし、予防的・開発的な生徒指導を組織的に推進する。	・毎朝の情報共有 ・週1アンケートによる実態把握 ・生徒指導主任を中心とした組織的な対応	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.0】生徒理解 生徒指導主任を中心として、組織的な生徒指導が展開されている。電子データによる情報集約も仕組み化され、指導の進捗を全体で確認できている。	B
	生徒の主体性の育成	主体性を育む学級・生徒会活動を推進する。	・学級活動の充実 ・生徒会、委員会活動の活性化	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.3】生徒会活動 全校熟議に基づき、生徒会主体の取組も進んだ。地域貢献活動にも取り組み始めたので、継続的な取組が望まれる。	
	環境整備の充実	校内の環境整備を計画的に実践する。学校安全の取組を他校種・地域と連携して行う	・委員会活動の活性化 ・他校種、地域や保護者と連携した活動の充実	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.3】環境整備・学校安全・コロナ対応 感染症対策は引き続き万全の体制で実施できた。環境整備については、地域・保護者との連携をさらに計画的に進める必要を感じる。学校安全については、特色ある取組としてKYT教材づくりを進めることができた。	
健康・体力	生徒のメンタルケア	SC(スクールカウンセラー)と連携した相談活動を充実させる。	・客観的な資料の活用 ・週一アンケートの共有 ・相談時間の確保 ・ケース検討の充実	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.3】教育相談 週一アンケートの共有は継続的にできている。SCとの相談は、必要に応じて時間調整を図ることができた。ケース検討など、さらにSCを活用し連携した取組の機会充実を図る必要がある。	B
	生活習慣の改善	学校や家庭における規則正しい生活リズムを定着させる。	・リズムチェック等の実践 ・町、小学校と連携した歯科指導の充実 ・保護者への情報発信	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.2】学校保健 ハッピー検定の取組等を通じて、町・小学校と連携した歯科指導の充実を図ることができた。リズムチェック等を形骸化させない工夫が必要である。	
	部活動の充実	目標や意欲をもち、生き生きと達成感をもてる部活動を推進する。	・適切な部活動休養日(週2日)の設定 ・顧問2人体制による指導の充実	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.0】部活動 任意加入への移行に伴い、地域クラブのみでの活動者、部活動未加入者も見られ始めた。意欲的に活動できる体制を充実するとともに、地域移行について見直しも必要である。	
業務改善	会議運営の効率化	会議時間の適正化を図る。	・企画会による課題検討、議題の精選等 ・時間内の会議の設定、事前の起案等	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	3	【3.0】業務改善 事前の起案や共有ドライブへの資料アップロードを仕組み化し、事前に提案事項に目を通す猶予をもつことを継続している。	B
	時間外業務時間の削減	職場環境の整備と校務分掌の平準化、これまでの取組の見直しを図る。	・キャリアや能力に応じた校務分掌 ・風通しのよい職員室の雰囲気づくり推進 ・ノー残業デーの徹底 ・情報の適時共有	4 評価アンケート3. 5点以上 3 評価アンケート3. 0点以上 2 評価アンケート2. 5点以上 1 評価アンケート2. 5点未満	2	【2.5】業務改善 職員室の親和的・支持的な風土を高める必要を感じている職員が多い。まずは、各自が責任をもって分業業務をやり遂げることで、組織としての一体感を醸成していくことが必要だと感じられる。校務分担の適正化にさらに努める必要がある。	

<p>6 学校評価総括(取組の成果と課題) 「昨年度末の全校熟議で出されたアイデアを学校経営に生かすことで、子どもたちや地域の方の参画意識を高める」ということを今年度の学校経営の基軸にすえた。「誰もが仲のよい学校づくり」を提唱する生徒会の思いは、学年ごとに実施していたふるさと学習を学年混合縦割り班でのテーマ学習への再編、生徒会主催のレクリエーション活動・地域貢献活動の企画・実施、教職員研修の充実・深化による「分かる授業づくり」の推進、学校運営協議会委員の取組項目の設定などに波及し、学校及び関係者が同じ方向をめざして動き出したことを実感する一年となった。そのことは学校運営協議会委員の方にも伝わり、学校の変化を実感したとの声をいただいている。 一方で、基礎的な学力を育むことや、生徒同士の関係性の向上、一人一台端末の有効な活用、職場環境の改善・業務改善等に課題が見られ、これらの項目に対する教職員の厳しい自己評価も見られた。改善の手がかりを得るため、学力向上に関しては、研修職員会に町教委の指導主事も招へいし、家庭学習への具体的な取り組み方を確認した。生徒同士の関係性向上に向けては、授業の中で対話的な場面を作り出すとともに、生徒指導部・教育相談部が連携を図りながら、個別相談の充実と並行し、集団に対する指導を深める取組を粘り強く継続した。職場環境の改善については、外部講師を招へいした研修を小学校と連携して実施した。業務改善については、年度末に向けて行事の見直しや取組事項の精選に関わる研修職員会を開催予定である。誰にとっても「居甲斐のある学校づくり」に取り組んで行く必要を痛感している。</p>

<p>7 次年度への改善策 (1)職員研修・授業研究の充実や深化を通して、子どもたちに基礎的・基本的な学力を育むとともに、表現することのよさを感じ、表現し合える学級集団づくりを行う。 (2)学習、行事、その他あらゆる教育活動の中で、子ども同士・子どもと教職員・教職員同士等が「温かなつながり」を仲立ちとして、相互に優しい関わりのできる学校づくりを進める。 (3)行事や取組の見直し・精選を進めるとともに、校務分掌の在り方や分掌組織の見直しを進め、業務改善を少しでも前進させる。 (4)一人一台端末の活用について研究を進め、授業での活用をさらに進めるとともに、家庭学習等での活用方策についても研究する。 (5)部活動の地域移行について校内体制を整えるとともに、行政等関係機関との連携のもと、関係者が見直しをもてる部活動経営を進める。</p>
--